

専門を生かす、
専門外の学びを。

令和3年度

大阪大学

大学院副専攻プログラム

大学院等高度副プログラム

オンライン合同ガイダンス

Graduate Minor Program,
Graduate Program for Advanced Interdisciplinary Studies Joint Guidance

ガイダンスWebサイト開設日

The guidance website is available from March 25th.

3月25日(木)

March 25th, Thu.

URL <http://osku.jp/h0900>



オンライン合同ガイダンスでは
プログラム担当者に **質問することができます!**



対象：大学院生／6年制の学部5・6年次生

副専攻・高度副プログラムとは、大学院生が自分の専門とは異なる
教員や学生と共に学問を体系的に学ぶことができる教育プログラムです。
対象は全大学院生・一部のプログラムは学部5・6年次も含みます。





履修者の声を聞いてみました。

実際にプログラムを履修した先輩に、履修の理由や良かった点、大変だったことなどをホンネで語ってもらいました。

Q.2 プログラムを履修して、一番印象的だったことは？

- 社会人の方を交えた講義の中で、**学生と社会人の視点や考え方の違い**を感じた点。
- プログラム構成科目を開講している部局が複数あり、**授業内容が多様だったこと。**



Q.4 これから履修を検討する人に対して、メッセージをお願いします。

- 確かに自分の時間をある程度削ることにはなりますが、それに見合った**成果・知識**を得ることが出来ると思いますので、ぜひ積極的に受けて知識や視野を広げてください。
- 「自身の専門分野を超えて幅広い知識を得る」という経験は、**今しか出来ないこと**だと思います。少しでも興味があると感じたら、臆せずにチャレンジしましょう。
- 物事を違った角度から見ることによって、**見え方や考え方がより豊かになる**ように思います。ぜひ履修してみることをおすすめします！

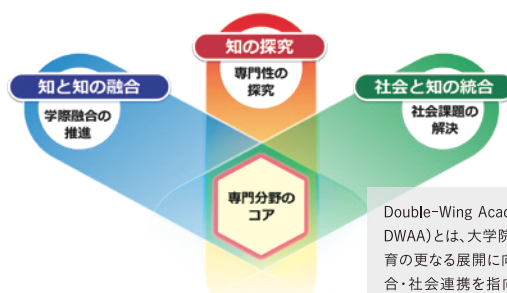


Q.1 プログラムを履修しようと思った理由は？

- **自分の専門とは少し離れた部分の知識**を得たいと思ったため。
- **専門分野以外の人と交流**をしてみたかったから。
- **自分の研究内容に隣接する分野**を広く学べると考えたため。

Q.3 プログラムで得た知識や経験は今後どのように活かせると思いますか？

- **自身の研究の幅を広げる**うえで役に立つと思う。
- 大学では学ぶことが難しい「**社会人から見た考え方**」が、就職後に活かせると思う。



Double-Wing Academic Architecture
概念図

Double-Wing Academic Architecture(以下DWAA)とは、大学院教育における高度教養教育の更なる展開に向けて導入される「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム」のことです。副専攻/高度副プログラムは、DWAAにおける「知と知の融合」「社会と知の統合」に相当する科目群です。